

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【公表番号】特表2010-529490(P2010-529490A)

【公表日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2010-034

【出願番号】特願2010-510352(P2010-510352)

【国際特許分類】

G 03 F	7/11	(2006.01)
G 03 F	7/004	(2006.01)
G 03 F	7/029	(2006.01)
G 03 F	7/033	(2006.01)
G 03 F	7/035	(2006.01)
G 03 F	7/00	(2006.01)

【F I】

G 03 F	7/11	5 0 1
G 03 F	7/004	5 0 5
G 03 F	7/029	
G 03 F	7/11	5 0 3
G 03 F	7/033	
G 03 F	7/035	
G 03 F	7/00	5 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月30日(2011.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成性層を上に有する基材を含み、当該画像形成性層が、
遊離基重合性成分、

画像形成輻射線への暴露によって遊離基重合性基の重合を開始するのに十分な遊離基を
生成することができる開始剤組成物であって、ホウ酸ジアリールヨードニウムを含む開始
剤組成物、

複素環式基を連結しているメチン鎖を有する赤外線吸収性シアニン色素、ここで、前記
メチン鎖は少なくとも7個の炭素原子鎖長を有する、および
一次ポリマーバインダー、

を含み、前記画像形成性要素は、さらに、前記画像形成性層上に配置されたオーバーコ
ートを含み、当該オーバーコートは、主に、85%以下の加水分解度を有するポリ(ビニ
ルアルコール)から構成されている、画像形成性要素。

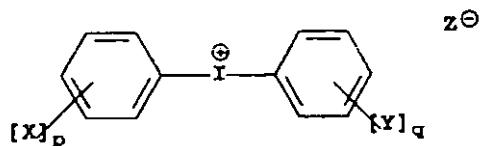
【請求項2】

前記オーバーコートは、60~85%の加水分解度を有する1または2種以上のポリ(ビニ
ルアルコール)樹脂から主に構成される、請求項1に記載の要素。

【請求項3】

前記ホウ酸ジアリールヨードニウムが下記構造(I B)：

【化1】



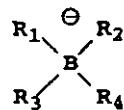
(IB)

{式中、X及びYは、独立に、ハロ、アルキル、アルコキシ、アリール又はシクロアルキル基であり、あるいは、2つ若しくは3つ以上の隣接するX又はY基が結合して、それらのフェニル基と縮合炭素環または複素環式環を形成してもよく、pおよびqは独立に0または1~5の整数であり、

【化2】

 z^\ominus は、下記構造(IB_z)：

【化3】



(IBz)

(式中、R₁、R₂、R₃及びR₄は、独立に、アルキル、アリール、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル又はヘテロシクリル基であるか、またはR₁、R₂、R₃、及びR₄のうちの2つまたは3つ以上が結合してホウ素原子と複素環式環を形成していることができる)

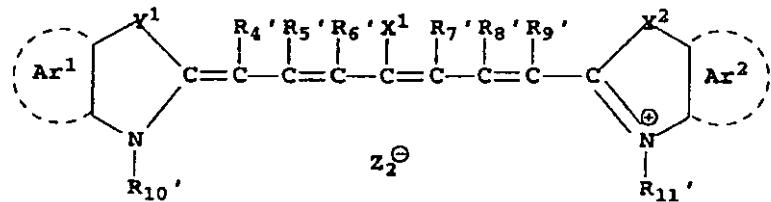
により表される有機アニオンである}

により表される、請求項1または2に記載の要素。

【請求項4】

前記赤外線吸収性シアニン色素が、前記画像形成性層の総乾燥質量を基準として1~30質量%の量で存在し、下記構造(DYE-II)：

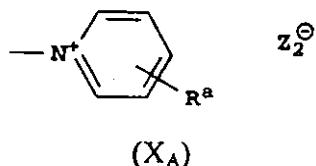
【化4】



(DYE-II)

(式中、 X^1 は、水素、あるいは、ハロ、-NPh₂、もしくは- X^2 -L¹基、または下記構造(X_A)により表される基である:

【化5】



(X_A)

ここで、Phはフェニル基を表し、 X^2 はオキシまたはチオ基を表し、L¹は炭素原子数1~12の炭化水素基、環内に12個以下の炭素原子を有するヘテロアリール基、または環内に12個以下の原子を有する非芳香族複素環式基を表し、R^aは1または2個以上の同じまたは異なるアルキル、アリール、アミノまたはハロ置換基を表し、

【化6】



は一価のアニオンであり、

Y^1 および Y^2 は同じまたは異なる硫黄原子またはメチレン基を表し、Ar¹およびAr²は同じまたは異なるフェニル、ナフチルまたはアントリル基であり、R^{6'}およびR^{7'}は独立に、炭素原子数12以下のアルキル、シクロアルキルまたはアリール基を表すか、あるいはそれらは組み合わさって5または6員炭素環式環を形成していてもよく、R^{4'}、R^{5'}、R^{8'}およびR^{9'}は、独立に、水素、あるいは炭素原子数12以下のアルキル、シクロアルキルまたはアリール基であり、R^{10'}およびR^{11'}は、独立に、アルキル、シクロアルキルまたはアリール基である)

により表される、請求項1~3のいずれか一項に記載の要素。

【請求項5】

A) 画像形成輻射線を使用して請求項1~4のいずれか一項に記載の画像形成性要素を像様露光して、露光領域および非露光領域を生成させること、および

B) 露光後ベーリング工程有りまたは無しで、像様露光された要素を現像して、非露光領域だけを除去すること、

を含む方法。

【請求項 6】

工程 B が、12 未満の pH を有する水性アルカリ性現像液を使用して印刷機外で行われる、請求項 5 に記載の方法。